

# 令和2年度 環境学習発表

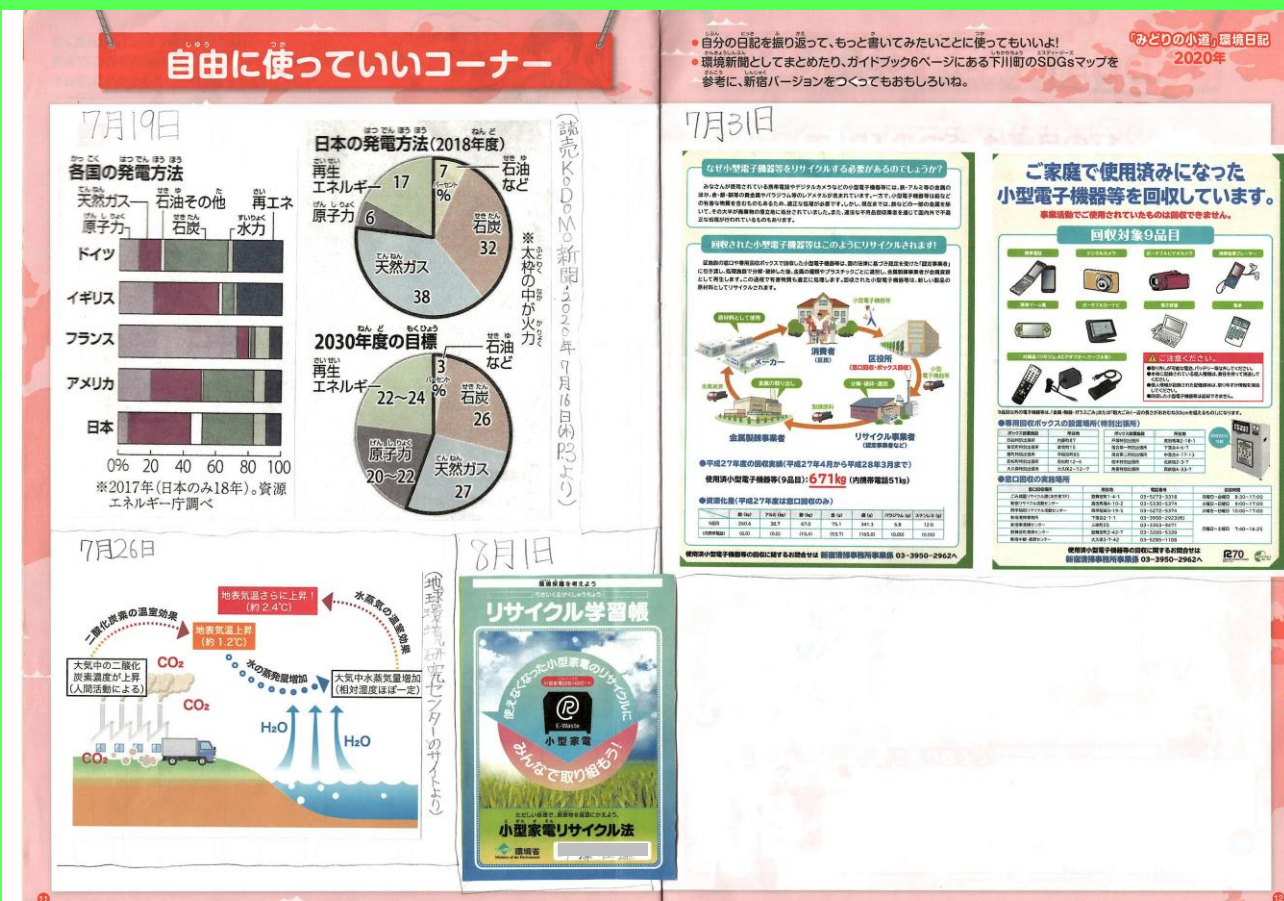
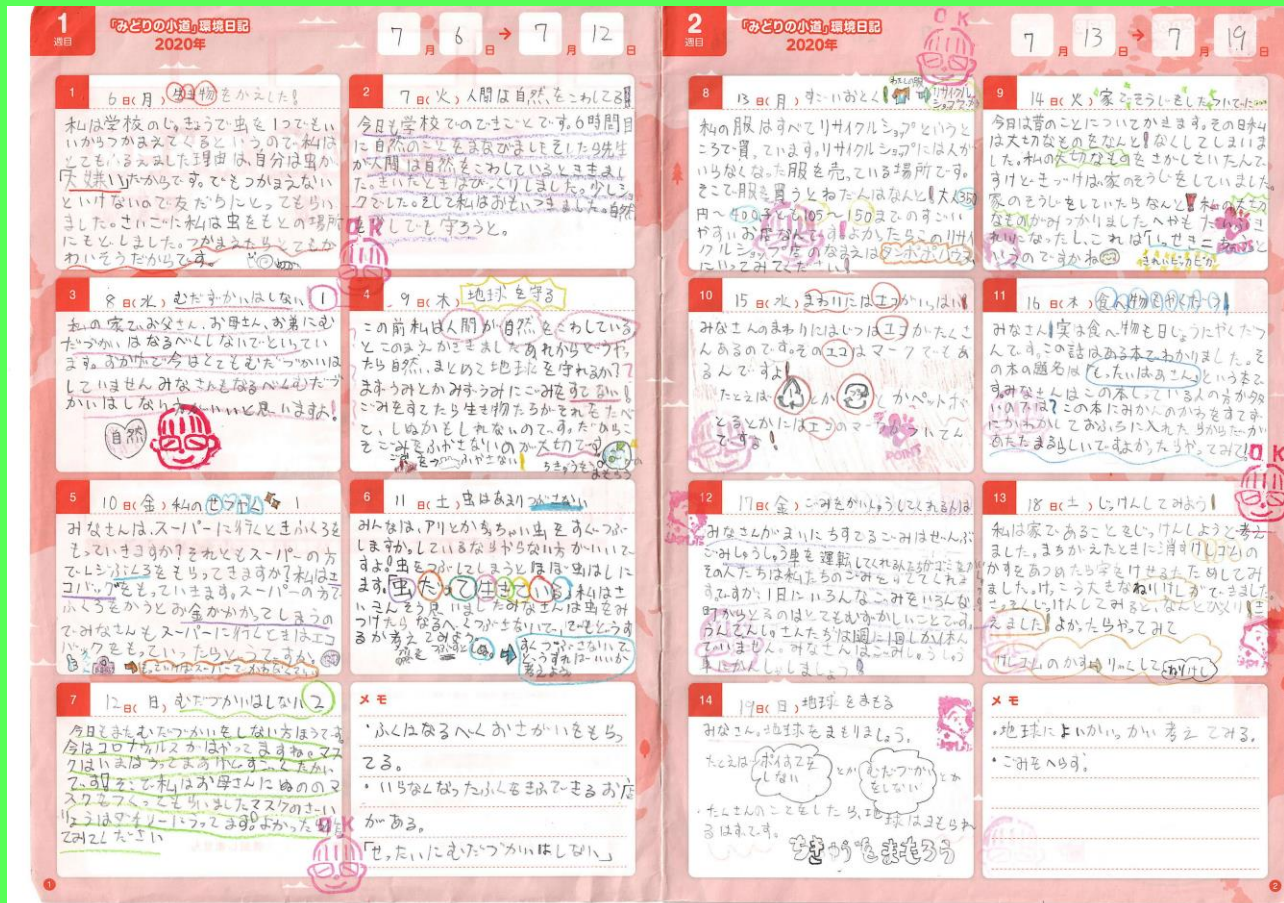
新宿区立鶴巻小学校

## 3年生、4年生、5年生、6年生 「みどりの小道」環境日記

分散登校が終わり、一斉登校が始まった7月から、令和2年度も中学年と高学年で「みどりの小道」環境日記 新宿版に取り組みました。エアコンや水、電気の節約、食べ残しを極力しない、エコバッグを使う、リサイクル・リユース・リデュースの3R、理科の学習で育てた昆虫や植物、かがやき（総合的な学習の時間）の緑のカーテンなど、様々な取組を毎日日記に書き綴りました。多くの児童がエコギャラリー新宿に応募して、その中から何人も賞をもらいました。そして、学校としても、表彰されました。

みどりの小道の取組を通して、「地球温暖化や記録的大雨による水害など、世界的な大きな問題を解決するために、小学生でもできることを一つ一つ行っていこう」「自分たちが、自然（環境）を大切にする」「自然を守っていこう。」「自然は、人だけのものではない、他の生き物にとっても大切なものだ」という思いをもつことができました。

### 「みどりの小道」環境日記の取組





## みどりのカーテン

4年生と鶴巻幼稚園で、今年もみどりのカーテンを作りました。小学校は保健室の前、幼稚園は職員室の前にネットを張ってゴーヤを育てました。毎日かわるがわるお世話をしたり、ゴーヤの成長を記録したりなどして、学級全員で関心をもってかわりました。7月8月と今年度も酷暑で、朝水をあげてもすぐにしんなりとするゴーヤ。みんなで心配しましたが、根気強くお世話をして、立派なゴーヤがいくつも実ったときの嬉しそうな顔が印象的でした。

【6月のゴーヤ。かがやきの授業中、自分たちでタブレットで記録しました。】



【しんなり「ゴーヤ」】



【緑のカーテンの土づくり】



地域協働学校みどり支援部のご協力により、最高の土でゴーヤを育てることができました。ありがとうございました。

【こちらは、秋のゴーヤ。熟し始めたゴーヤの記録です。】



## 4年生 神田川の生き物調べ

令和2年度は校外学習を行う機会がなかったので、4年生はタブレットを活用して、「わが町つるまき」の身近な川「神田川」について調べました。小さなころから思い出がある「神田川」にどんな生き物がいるのか。興味・関心をもって調べていくと…江戸川橋の近くには、アユ、オイカワ、ウグイ、タモコロ、モツゴ、コイ、ドジョウ、ボラ、カムルチー、マハゼやミドリガメなどたくさんの生き物がいることが分かりました。その他にも水鳥やスズエビなどたくさんの種類が生きていました。一人一人、詳しく調べる生き物を決め、タブレットで調べたことを入力してレポートを作りました。



### 〈調べ学習レポート〉

#### 神田川生き物調べ

4年1組 番



カムルチー

カムルチーは、スズキ目・タイワンドジョウ科に分類される魚の一種。東アジアに分布する肉食性の大型淡水魚である。日本や中央アジアなどにも移入され、分布を広げている外来種である。日本では同属のタイワンドジョウやコウタイと共に、ライギョ（雷魚）、ライヒー、タイワンなどとも呼ばれる。

特徴

成魚は全長30～80センチメートルほどで、大型個体は1メートルに達する。前後細長い円筒形をしている身体の色は黄色～緑色で、体側には円形の黒っぽい物が2列に並ぶ。口は大きく、下が上よりも前に突き出ており、鋭い歯が並ぶ。

### 〈レポートのまとめ〉

#### 神田川生き物調べを通して

名前（ ）

身近な川「神田川」 そこにくらす水辺の生き物を調べて、感じたこと 思ったこと 考えたこと

私は、カムルチーを調べました。神田川の思い出があります。亡くなったひいおばあちゃんとお花見をした事があります。そんな神田川にカムルチーという魚がいたなんて、びっくりしました。カムルチーの写真を最初に見た時は、こんな魚見た事ないなあと思いました。カムルチーを見たくなくて神田川に見に行ったら本当にいました。体長も同じぐらいでした。

神田川には、いろんな種類の魚がいてすごいなあと思いました。

他の魚も調べてみたいです。

お花見をしたり、公園で遊んだりすると思うので神田川のを環境を守りたいです。



## 生き物とのふれあい

今年度も理科の授業の中で、3年生はモンシロチョウ、アゲハチョウを、4年生はカブトムシ、カマキリ、バッタを、5年生と6年生はメダカを大切に育てました。5年生は、かがやき（総合的な学習の時間）で学校の屋上で田んぼを作り稲作をしています。黄金色の稲穂になったころスズメの来襲を経験します。そして、鶴巻小学校の又シになりつつあるミドリガメ2匹、イシガメ1匹は、6年生が大切にお世話をしています。その他にも、屋上にあるバタフライゾーンの小さな池のメダカやスジエビ、神田川ミニ水族館（ビオトープ）のギンブナやドジョウとも児童は接しています。

このように鶴巻小学校では、生き物とふれあいながら「命の大切さ」「生命の神秘」「自然の摂理」を学んでいます。これも環境学習としての取り組みです。

【3年生のアゲハチョウ。幼虫→さなぎ→成虫と命の神秘に触れました。】



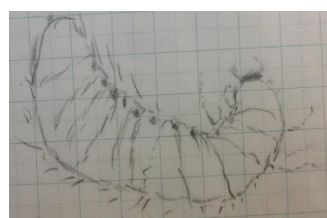
【6年生のカメ。代々6年生がお世話をしています。】



【4年生のカマキリ。毎日校庭で生餌を探し、食物連鎖も学ぶことができました。産卵もしてくれました。】



【4年生のカブトムシ。幼虫→成虫→幼虫とお世話をしました。理科の時間のスケッチです。愛情込めて描きました。】



## 学校全体の取組

1年生から6年生全学級で、ごみの分別、節電、節水に取り組んでいます。ごみは「もえるごみ」「ミックスペーパー」「もえないごみ」「プラスチックごみ」に分別する。特別教室に移動するときは必ず教室の電灯を消す。手を洗うときは水を出しっぱなしにしない。環境のために「わざわざ行う」のではなく、日常の「あたりまえ」のこととして、全校児童が行動しています。

また、今年度は新型コロナウイルスの感染防止対策の関係で実施できませんでしたが、毎学期1回地域清掃を行っていました。地域のために働くことを主としていますが、歩道に捨てられているごみの多さに驚き、環境を壊してはいけないという思いを高められる取組を行っています。



【学校の全部屋にある、分別のごみ箱です。】